

## デロイト トーマツ企業リスク研究所主催 「内部監査セミナー」のご案内

本年も、恒例の内部監査セミナーを開催いたします。

本セミナーは内部監査部門へ配属された初心者の方、財務・経理等の知識がない方から、内部監査実務に精通された方、内部監査部門の管理者・責任者等まで、幅広く参加頂き好評を得ており、毎年実施しております。

今回も内部監査の全体像の理解するために、計画立案、実施、報告という内部監査業務の流れに沿って、内部監査人として必要な基礎知識や手続などの実務をそれぞれのセクションに分けて、わかりやすく解説いたします。

また、今日の内部監査では不可欠な情報システム監査や、近年多くの企業が実施しているリスクマネジメントの取り組みに期待される内部監査部門の役割についても解説いたします。

さらに、内部監査部門の管理者や責任者の方々などの内部監査経験が豊富な方々にも聴講していただけるよう、内部監査の高度化をテーマに、「海外子会社の内部監査」、「不正対応の内部監査と CAAT の活用」、「経営者に評価される内部監査」の3講座もご用意しました。

貴社の内部監査部門の方々のご経験やニーズに合わせた内容の講座にご参加いただき、内部監査部門における新任研修、及び管理者・責任者の方々のごさらなるスキルアップ研修として、本セミナーを是非ご活用くださいますようお願い申し上げます。

### セミナー概要

- 開催日 2017年6月6日(火)、7日(水)、8日(木)
- 会場 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所 淀屋橋三井ビルディング 6F  
セミナールーム(地下鉄御堂筋線淀屋橋駅 10番出口直結)
- 対象者 内部監査部門に配属されて間もない方、財務・経理のご経験がない方、  
内部監査部門で実務をある程度経験された方、管理者・責任者の方 など
- 定員 各テーマにつき100名 (テーマ毎に定員に達し次第、締め切ります)

### スケジュール

	9:45~11:45 (受付開始:9:15~)	12:45~14:45 (受付開始:12:30~)	15:00~17:00 (受付開始:14:45~)
6/6(火)	内部監査の基礎概論	内部監査調書の書き方	内部監査の手法
6/7(水)	内部監査における インタビュー技法	情報システムの監査	リスクマネジメントと 内部監査
6/8(木)	海外子会社の内部監査	不正対応の内部監査と CAAT の活用	経営者に評価される 内部監査

※各テーマにつき CIA 等の各種資格の継続的専門教育(CPE)単位取得のための受講証明書発行が必要な場合には、事務局にご連絡ください。

## 講義の内容

	テーマ	内容
6/6 (火)	内部監査の基礎概論	内部監査について、その目的や機能、監査の種類、基本的な業務の流れ等、内部監査の全体像について解説いたします。
	内部監査調書の書き方	監査調書の意義・種類・要件、実施した監査手続の記録方法から結果のまとめ方まで、わかりやすい監査調書を作成するためのポイントを解説いたします。
	内部監査の手法	内部監査の実施に必要な監査手続、監査証拠の収集、監査サンプリングなど、内部監査人として知っておくべき監査手法の基礎を平易に解説いたします。
6/7 (水)	内部監査におけるインタビュー技法	内部監査を行う上で必要となるインタビュー技法に関して、インタビューの目的、作業手順、各作業におけるポイント、質問項目設定や質問のしかたなどにおける留意点について解説いたします。
	情報システムの監査	財務報告に係る内部統制の基礎となる情報システムについて、管理業務の流れと管理のポイント、管理手続及び管理業務の内部統制を検証するための監査手続の例を解説いたします。
	リスクマネジメントと内部監査	近年多くの企業が取り組んでいるリスクマネジメントを概観し、内部監査に期待される役割、監査例を解説いたします。また、東日本大震災をきっかけに事業継続計画(BCP)の策定・見直しに取り組む企業が増えており、BCPの内部監査の実施例についても触れます。
6/8 (木)	海外子会社の内部監査	海外子会社の監査は、距離、時差、言語、法制度、文化、習慣等の海外固有の障壁が存在するため、十分に実施できていない企業が少なくありません。海外子会社内部監査の実務上の留意事項などを解説いたします。
	不正対応の内部監査とCAATの活用	不正の手口、不正に対する内部監査人の役割、不正に対応した内部監査を実施する上でのポイントを解説いたします。不正の手口については、販売・購買等の各プロセスの代表的なスキームを紹介いたします。内部監査を実施する上でのポイントについては、CAAT(コンピュータ利用監査技法)を中心に説明いたします。
	経営者に評価される内部監査	近年経営者の内部監査への要求がますます高度になる中で、内部監査の効率化・高度化や、経営者の関心事を対象とした監査、経営者の改善指示を引き出す報告など、内部監査が評価されるために取り組むべきポイントについて解説いたします。

## ご受講料

### ① パック受講コース(各日程をそれぞれお一人の方が受講する場合)

6月6日の3テーマ分	:お一人様につき	10,000円(税込み)
6月7日の3テーマ分	:お一人様につき	10,000円(税込み)
6月8日の3テーマ分	:お一人様につき	10,000円(税込み)

### ② 個別受講コース

:1テーマにつき 5,000円(税込み)

## お申込み手続

当法人ウェブサイトからお申し込みください。

URL はこちらです。⇒ <http://www.deloitte.com/jp/semi3647>

上記 URL の本セミナー申込みに際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。

ご回答いただく内容は、SSL 暗号化通信により、内容の保護を図っております。

※過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申し込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご設定済みの ID・パスワードで簡単にお申し込みいただけます。

※お申込みは 1 名様ずつのご登録が必要になります。

※まだ ID・パスワードをお持ちでない方は、上記 Web サイトより、[新規ユーザー登録はこちら]をクリックし、ID・パスワードを設定してユーザー登録をしていただきます。その後、設定した ID・パスワードでログインしてセミナーにお申込ください。

## お問い合わせ先

有限責任監査法人 トーマツ 関西セミナー事務局 担当 中嶋／黒木

TEL: 06 - 4560 - 6006

E-mail: [kansai\\_seminar\\_jimukyoku@tohmatu.co.jp](mailto:kansai_seminar_jimukyoku@tohmatu.co.jp)

## Access

- ・ 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 10 番出口直結
- ・ 京阪本線「淀屋橋」駅 3 番出口から徒歩 1 分
- ・ 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-A 出口から徒歩 6 分



デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 9,400 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト([www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp))をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。